

カジノで街は どうなるんよ？

カジノ問題を考える市民集会

7月19日(水)

午後6時開場 6時30分開会

プラザホープ 2F多目的室

【講演】

「カジノ解禁推進法の問題点」

講師／吉田哲也 弁護士

- 全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会事務局長
- 日弁連カジノギャンブル問題検討ワーキンググループ委員
- 依存症問題対策全国会議事務局長



「和歌山にカジノを誘致する」。この話を聞いて真っ先に立ちあがったのが「あざみの会」でした。サラ金被害とギャンブル依存症は密接な関係にあるからです。

カジノ問題はそれだけではありません。海南市では先般、藤白地区に計画されたポートピア建設計画を断念させました。「熊野古道ゆかりの地域にギャンブル施設はいらぬ」と言うのが主な反対理由でした。

カジノ問題は、街の歴史や文化にも大きく関わる問題です。教育への影響も見逃すことはできません。

広範な方にお集まりいただき、この問題を深め、知識を共有し合えればと願っています。ぜひお運びください。

※集会では、講演のほか、参加者の意見交流も行います。



主催／カジノ問題を考える和歌山ネットワーク準備会

事務局／和歌山市杉の馬場1丁目11 あざみの会 TEL 073-424-6300

- 新 吉広 (あざみの会事務局長) ■ 岡 正人 (和歌山クレサウ対策協議会代表幹事) ■ 木下和久 (元小学校校長) ■ 琴浦龍彦 (県地評議長)
- 西郷 章 (憲法を生かす会代表) ■ 佐藤洋一 (生協こども診療所所長) ■ 高木敏恒 (元県小中学校PTA連合会会長) ■ 戸井洋木 (司法書士)
- 中谷弘子 (新日本婦人の会県本部) ■ 花田恵子 (NPO・和歌山環境ネットワーク理事)